

第2章 平成31年/令和元年の主な調査活動の概況

航空機や鉄道、船舶の事故等が発生すると、運輸安全委員会はその事故等を調査する主管調査官及び担当事故調査官を指名し、発生原因等について調査を開始します。事故等はいつどこで発生するか分かり得ないことから、事故調査官をはじめとする委員会の職員は、事故等が発生したとき直ちに調査活動ができるよう、日々調査スキルの向上に努めています。

事故調査官は、事故等の調査を行うのみならず、原因関係者から意見を聴取し、また、事故等の防止又は事故が発生した場合における被害の軽減のため講ずべき施策や、勧告案及び意見案を作成するなど、その職務には多角的な知見が求められることから、国内外の研修に積極的に参加し専門的な知識の向上に努めるとともに、国際会議に出席し、事故等に関する情報の共有を諸外国と行っています。

今後も引き続き、発生した航空、鉄道、船舶事故等の徹底した原因究明を行い、極力早期に調査報告書を公表し、調査結果に基づき、必要に応じて関係行政機関や事故等の原因関係者に勧告し、又は意見を述べることにより、事故等の再発防止を求めてまいります。

1 平成31年/令和元年に発生し調査を開始した主な事故等

平成31年/令和元年も様々な事故等が発生し、以下に掲げた事故等を主とした調査を開始しております。

① 航空関係

- ・ 個人所属 茨城県かすみがうら市新治付近におけるTL-2000 STING carbon型（超軽量動力機）墜落事故〈10月20日発生〉
- ・ 全日本空輸(株)所属 北京の北東約140キロメートル、高度約5,500メートルにおけるボーイング式787-8型機（大型機）機体の動揺による乗客2名の負傷事故〈8月15日発生〉
- ・ エス・ジー・シー佐賀航空(株)所属 茨城県筑西市口戸の水田におけるアエロスパシアル式AS350B型機（回転翼航空機）農薬散布作業中の墜落事故〈7月29日発生〉
- ・ 航空自衛隊、(株)ジェイエア所属 三沢飛行場滑走路上及び三沢飛行場滑走路進入端の西約2.8キロメートル、高度約190メートルで滑走路への進入中のジェイエア機（大型機）が、滑走路の手前で待機するよう指示されていた航空自衛隊機が同滑走路に進入した重大インシデント〈10月3日発生〉
- ・ (株)フジドリームエアラインズ所属 山形空港を離陸滑走中のエンブラエル式ERJ170-200STD型機（大型機）が、滑走路を逸脱する重大インシデント〈4月23日発生〉

航空事故のうち調査対象となったものは12件で、前年から継続調査となった17件を含む29件について原因究明に向けた調査を行いました。また、航空重大インシデントのうち調査対象となったものは17件で、前年から継続調査となった15件を含む32件について原因究明に向けた調査を行いました。

② 鉄道関係

- ・ 東日本旅客鉄道(株) 逗子駅構内（神奈川県逗子市）山の根踏切道（第4種）踏切障害事故〈3月21日発生〉

- ・(株)横浜シーサイドライン 金沢シーサイドライン新杉田駅構内（神奈川県横浜市）鉄道人身障害事故〈6月1日発生〉
- ・横浜市交通局1号線（ブルーライン）下飯田駅～立場駅間（神奈川県横浜市）列車脱線事故〈6月6日発生〉
- ・南海電気鉄道(株) 住ノ江検車庫内（大阪府大阪市）車両障害重大インシデント〈8月24日発生〉
- ・京浜急行電鉄(株) 本線神奈川新町駅～仲木戸駅間（神奈川県横浜市）神奈川新町第一踏切道（第1種）列車脱線事故〈9月5日発生〉

鉄道事故のうち調査対象となったものは17件で、前年から継続調査となった11件を含む28件について原因究明に向けた調査を行いました。また、鉄道重大インシデントのうち調査対象となったものは2件で、前年から継続調査となった3件を含む5件について原因究明に向けた調査を行いました。

③ 船舶関係

- ・旅客船ぎんが衝突（水中浮流物）事故（新潟県佐渡市姫崎灯台東北東沖）〈3月9日発生〉
- ・貨物船千勝丸貨物船すみほう丸衝突事故（千葉県銚子市犬吠埼灯台南方沖）〈5月26日発生〉
- ・漁船第六十五慶栄丸転覆事故（北海道根室市納沙布岬東方沖）〈9月17日発生〉
- ・貨物船BUNGO PRINCESS衝突（橋梁）事故（京浜港横浜区南本牧はま道路）〈9月9日発生〉
- ・旅客船なんきゅう10号旅客負傷事故（鹿児島県南大隅町根占港北西方沖）〈12月2日発生〉

船舶事故のうち調査対象となったものは845件で、前年から継続調査となった599件を含む1,434件（調査等の結果、事故に該当しない10件を除く。）について原因究明に向けた調査を行いました。また、船舶インシデントのうち調査対象となったものは230件で、前年から継続調査となった87件を含む307件（調査等の結果、インシデントに該当しない10件を除く。）について原因究明に向けた調査を行いました。

2 平成31年/令和元年に調査報告書を公表した主な事故等

調査が終了した事故等については、委員会（部会）の審議・議決を経た後、調査報告書を国土交通大臣へ提出のうえ、運輸安全委員会ホームページにて公表しております。公表した主な事故等は、以下のとおりです。

① 航空関係

- ・海上保安学校宮城分校所属 宮城県仙台空港における回転翼航空機ハードランディングによる機体損傷事故〈2019年2月27日発生〉
- ・日本航空航空機 東京国際空港発動機破損 重大インシデント〈2017年9月5日発生〉
- ・大韓航空機 成田国際空港滑走路06L 着陸時脚損傷地上走行不能 重大インシデント〈2018年6月29日発生〉
- ・個人 奈良県山辺郡山添村飛行中の制御喪失による墜落事故〈2017年8月14日発生〉
- ・ポーラーエアカーゴ航空機 成田国際空港滑走路16L オーバーランに準ずる事態 重大イ



ンシデント <2017年7月15日発生>

(詳しくは「第3章 8 主な航空事故等調査報告書の概要(事例紹介)」59～63ページをご覧ください。)

調査が終了した15件の航空事故と11件の航空重大インシデントについての調査報告書を公表しています。

公表した調査報告書のうち「個人所有ソカタ式TBM700型機の事故」について、国土交通大臣に対して7月25日に勧告を行いました。

(詳しくは「第1章 平成31年/令和元年に発した勧告・意見等の概要」18ページをご覧ください。)

② 鉄道関係

- ・南海電気鉄道(株) 南海本線樽井駅～尾崎駅間(大阪府阪南市)列車脱線事故 <2017年10月22日発生>
- ・西日本旅客鉄道(株) 東海道新幹線名古屋駅構内(愛知県名古屋市)車両障害鉄道重大インシデント <2017年12月11日発生>
- ・日本貨物鉄道(株) 石勝線トマム駅構内(北海道勇払郡占冠村)列車脱線事故 <2018年2月24日発生>
- ・西日本旅客鉄道(株) 福塩線道上駅～万能倉駅間(広島県福山市)踏切障害事故 <2018年9月27日発生>
- ・北海道旅客鉄道(株) 千歳線新札幌駅構内(北海道札幌市)施設障害鉄道重大インシデント <2018年11月9日発生>



(詳しくは「第4章 9 主な鉄道事故等調査報告書の概要(事例紹介)」87～92ページをご覧ください。)

調査が終了した13件の鉄道事故と3件の鉄道重大インシデントについての調査報告書を公表しています。

公表した調査報告書のうち「南海電気鉄道(株) 南海本線列車脱線事故」について、国土交通大臣に対して1月31日に意見を述べました。

(詳しくは「第1章 平成31年/令和元年に発した勧告・意見等の概要」21～23ページをご覧ください。)

③ 船舶関係

- ・ケミカルタンカーGOLDEN SUNNY HANA 爆発事故(2018年4月8日発生)
- ・油タンカー宝運丸 橋梁衝突事故(2018年9月4日発生)
- ・漁船第三盛漁丸 乗組員負傷事故(2018年9月14日発生)
- ・貨物船ERIK 乗組員死亡事故(2018年9月18日発生)
- ・貨物船ERNA OLDENDORFF 橋梁衝突事故(2018年10月22日発生)



(詳しくは「第5章 11 主な船舶事故等調査報告書の概要(事例紹介)」132～136ページをご覧ください。)

調査が終了した838件の船舶事故と162件の船舶インシデントについての調査報告書を公表しています。

公表した調査報告書のうち「油タンカー宝運丸衝突(橋梁)事故」について、鶴見サンマリン株式会社に対して4月25日に勧告を行いました。

また、「貨物船ERIK乗組員死亡事故」について、Krey Schifffahrts GmbH & Co. KGに対して2月28日に、「ケミカルタンカーGOLDEN SUNNY HANA爆発(貨物油タンク)事故」について、HNCC CO., LTDに対して3月28日に、「貨物船ERANA OLDENDORFF衝突(橋梁)事故」について、OLDENDORFF Carriers GmbH & KG及びマルタ共和国当局に対して10月31日に、「貨物船MARINA衝突(護岸)事故」について、CREDIT OCEAN SHIPPING CO., LTD に対して12月19日にそれぞれ安全勧告を行いました。

さらに、漁船第三盛漁丸乗組員負傷事故では、水産庁長官に対して、8月29日に意見を述べました。

(詳しくは「第1章 平成31年/令和元年に発した勧告・意見等の概要」19～30ページをご覧ください。)

3 平成31年/令和元年に経過報告を公表した事故等

事故等調査において、再発防止を図るために必要があると認めるときには、事故等の経過について、国土交通大臣へ報告のうえ、運輸安全委員会ホームページにて公表しております。公表した事故等の経過報告は、以下のとおりです。

① 船舶関係

・貨物船ERNA OLDENDORFF衝突(橋梁)事故 <2018年10月22日発生>

平成30年10月22日、山口県柳井市及び周防大島町間の大島瀬戸に架かる大島大橋で発生した貨物船ERNA OLDENDORFF衝突(橋梁)事故について、当委員会においては、事故発生以来、鋭意調査を進めていましたが最終的に報告書を取りまとめるまでには、時間を要すると見込まれました。そのため、同種の事故の発生を防止する観点から、本事故の概要、本事故調査の経過及び現時点で確認された事実情報について、国土交通大臣に対して平成31年3月28日に経過報告を行ったうえで公表しています。(その後、平成31年10月22日に調査報告書を公表。詳しくは「第5章 11 主な船舶事故調査報告書の概要(事例紹介)」136ページをご覧ください。)

※当該経過報告については、当委員会ホームページに掲載されています。

http://www.mlit.go.jp/jtsb/ship/rep-acci/2019/keika20190328-0_2018tk0020.pdf